

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成31年2月7日(2019.2.7)

【公開番号】特開2017-116721(P2017-116721A)

【公開日】平成29年6月29日(2017.6.29)

【年通号数】公開・登録公報2017-024

【出願番号】特願2015-251691(P2015-251691)

【国際特許分類】

G 03 G 21/00 (2006.01)

B 41 J 29/38 (2006.01)

G 06 F 3/0484 (2013.01)

【F I】

G 03 G 21/00 5 1 0

G 03 G 21/00 3 8 6

B 41 J 29/38 Z

G 06 F 3/0484 1 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成30年12月19日(2018.12.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

記録媒体に画像を形成する画像形成手段と、

前記画像形成手段の調整処理を実行する調整手段と、

所定の調整処理を含む複数の調整処理の中から前記調整手段に実行させる調整処理を選択する選択手段と、

前記選択手段に選択された前記調整処理が実行される場合、前記選択された調整処理が完了するまでの残り時間を決定する決定手段と、

前記決定手段により決定された前記残り時間を表示する表示手段と、を有し、

前記決定手段は、前記画像形成手段が複数の記録媒体に前記画像を形成する印刷ジョブを中断して前記調整手段によって前記所定の調整処理が実行される場合、前記残り時間を第一の予測時間に基づいて決定し、

前記決定手段は、前記印刷ジョブの実行後に前記調整手段によって前記所定の調整処理が実行される場合、前記残り時間を前記第一の予測時間よりも長い第二の予測時間に基づいて決定することを特徴とする画像形成装置。

【請求項2】

前記所定の調整処理は、前記複数の調整処理の中で、リトライ動作を実行する調整処理であることを特徴とする請求項1に記載の画像形成装置。

【請求項3】

前記複数の調整処理は、前記所定の調整処理と異なる他の調整処理を含み、

前記決定手段は、前記印刷ジョブを中断して前記調整手段によって前記所定の調整処理と前記他の調整処理とが実行される場合、前記残り時間を前記第一の予測時間と第三の予測時間とに基づいて決定し、

前記決定手段は、前記印刷ジョブの実行後に前記調整手段によって前記所定の調整処理と前記他の調整処理とが実行される場合、前記残り時間を前記第二の予測時間と前記第三

の予測時間に基づいて決定することを特徴とする請求項 1 に記載の画像形成装置。

【請求項 4】

前記調整手段は、前記所定の調整処理が正常に完了しなかった場合に前記所定の調整処理のリトライ動作を実行し、

前記調整手段は、前記他の調整処理が正常に完了しなかった場合に前記他の調整処理のリトライ動作を実行しないことを特徴とする請求項 3 に記載の画像形成装置。

【請求項 5】

前記所定の調整処理は、前記画像形成手段が前記画像を前記記録媒体へ転写するための転写電圧を補正する転写電圧補正動作であることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか一項に記載の画像形成装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

そこで、本発明は、ユーザが出力物を回収できる時刻や画像形成装置を次に使用可能となる時刻を把握しやすい残り時間を表示することができる画像形成装置を提供する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

本発明の一実施例による画像形成装置は、

記録媒体に画像を形成する画像形成手段と、

前記画像形成手段の調整処理を実行する調整手段と、

所定の調整処理を含む複数の調整処理の中から前記調整手段に実行させる調整処理を選択する選択手段と、

前記選択手段に選択された前記調整処理が実行される場合、前記選択された調整処理が完了するまでの残り時間を決定する決定手段と、

前記決定手段により決定された前記残り時間を表示する表示手段と、を有し、

前記決定手段は、前記画像形成手段が複数の記録媒体に前記画像を形成する印刷ジョブを中断して前記調整手段によって前記所定の調整処理が実行される場合、前記残り時間を第一の予測時間に基づいて決定し、

前記決定手段は、前記印刷ジョブの実行後に前記調整手段によって前記所定の調整処理が実行される場合、前記残り時間を前記第一の予測時間よりも長い第二の予測時間に基づいて決定することを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

本発明によれば、ユーザが出力物を回収できる時刻や画像形成装置を次に使用可能となる時刻を把握しやすい残り時間を表示することができる。